

第2回やすらぎ堤デザイン検討委員会資料

平成27年3月16日(月)

未整備区間、整備済み重点確認区間の デザインについて

（目 次）

- 1 意見聴取の結果について
- 2 未整備区間のデザイン検討
 - 1) 新光町地区
 - ①新光町上流区間
 - ②新光町下流区間
 - 2) 関新地区
- 3 整備済み重点確認区間の改良デザイン検討
 - 1) 萬代橋～八千代橋（両岸）
 - 2) りゅうとぴあ前

1 意見聴取の結果について

委員会後にいただいた主な意見

1. 「未整備区間のデザイン検討」

①新光町上流区間		● 駐車場を確保し、上流部の広場的利用がよい。 ● 遊歩道とサイクリングロードは必要。 ● 信濃川から背後地に向け一定程度の広がりをもった空間として、デザインすることがよい。 ● 人目に触れる機会の多い場所であり、現状の景観を生かした整備を行ってほしい。
②新光町下流区間		● 橋から直接アプローチ出来るようにしていただきたい。(昭和大橋右岸も同様) ● 広場にできるとよい。船着き場にキオスク的なカフェを。 ● 病院前を、病院利用者が水辺で自然とふれあえることをデザインの目標としては。 ● 「やすらぎ堤を考える会」の提案主旨で基本的考え方はいいと思う。
①、② 共通	(自然環境)	● 既存植生は、野鳥が飛来するので、このまま残して欲しい。
	(景観・利用)	● ジョギング利用の要望に対する配慮は必要。 ● 通常は歩行者と軽車両が使用できる災害時専用道路の充実。 ● 船、橋、堤から見せる景色となるものが必要。
	(その他)	● 利用者、各種団体、企業が安全の為の看板等に統一感が欲しい。
③関新地区(上流部左岸)		● トイレの設置もして欲しい。 ● 新潟島一周を安全に出来るよう、歩道・自転車道の整備を希望。 ● 歩行者の利用動線を考慮したスロープや園路配置が必要である。 ● 全体の方向性としては「やすらぎ堤を考える会」の主旨でよい。

1 意見聴取の結果について

2. 「整備済み区間の改良デザイン検討」

① 萬代橋～八千代橋(両岸)	● 萬代橋を尊重するデザインとは、オリジナルのデザインや素材を尊重し、それが引き立つように出て来るだけシンプルなデザインを採用すべき。 ● 立体歩道橋は水面上まで張り出すシンボル性の高いものに。 ● 全体としてまちなかのシンボルになるようなデザインが必要。 ● 統一性や新たな構造物も含め多くの方が親しめる空間形成が必要。 ● ガイドラインを設けたうえで、商業利用が可能となるようにすべき。
② りゅーとぴあ前(昭和大橋上流左岸)	● 水上バスの停留所を常設し、信濃川周辺の散策コースのバリエーションを広げて欲しい。 ● 商業目的での利用範囲拡大を検討してほしい。

3. 「設備等の整備に係る基本方針の検討」

① やすらぎ堤区間の設備類にルールを設定することの可否及びその対象について	● 設備類にルールを設定することは賛成。特に、デザインの統一化を図ることは是非行ってほしい。 ● 看板等は、シンプルなものに統一した方がいい。 ● 設備の設置は、萬代橋、弥彦山・角田山の眺望を損なわない配慮が必要。
①を設定するとした場合、参考とすべき事例があるか	● 看板については、ピクトサインのように、見てわかるものが好ましい。 ● 防護柵については、場所に応じて大きさが変わるが、基本デザインの統一化を図ることが好ましい。

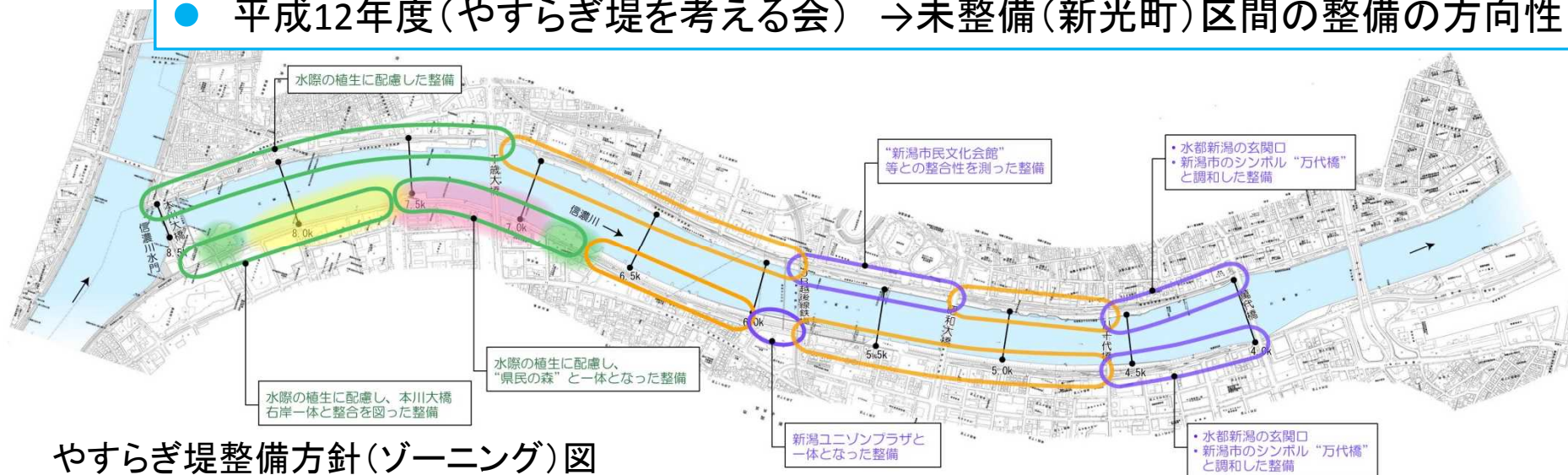
4. その他

- 施設の設置費用の一部を負担してもらうことで、ネームプレート(銘板)などを設置する方法が考えられる。
- 自転車の利用について、有効な速度規制、あるいは分離ができれば良い。
- 都心部でもバーベキューやキャンプのできる所があってもいいのではないか。
- 大きめのパラソルやテントの設置はどうか。
- 富山環水公園内の堤防上のスターバックスコーヒーは、若者たちでにぎわっていた。民間への開放を視野に、ルールに則った自由な使い方を企画して欲しい。
- ランニングステーションや、信濃川を手軽な遊び場とするために、カヌーなどの乗り入れ場所の指定。

過去に開催した懇談会等による整備方針 【やすらぎ堤の概要】

【再掲】

- 平成8年度(やすらぎ堤整備懇談会) →やすらぎ堤区間全体の整備方針
- 平成12年度(やすらぎ堤を考える会) →未整備(新光町)区間の整備の方向性



やすらぎ堤整備方針(ゾーニング)図

H8整備方針

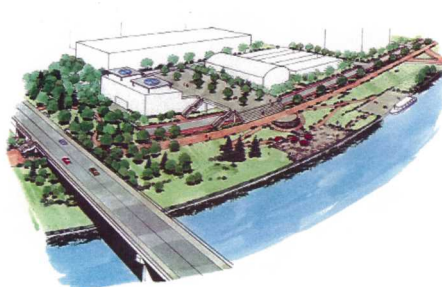
- 水辺植生配慮区間
- 拠点区間
- 利用区間

H12整備の方向性

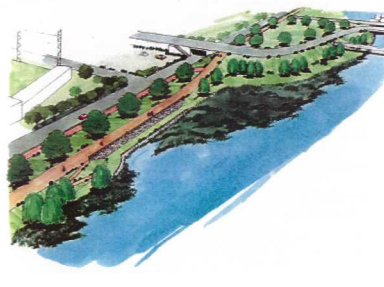
- 現況自然植生の保全を考えるゾーン
- 親水利用の促進を考えるゾーン
- 水辺の自然化と親水利用の中間的なゾーン



既設～中央病院下流
(H12)



中央病院下流～
県庁前上流 (H12)



信濃川水門下流付近
(H12)

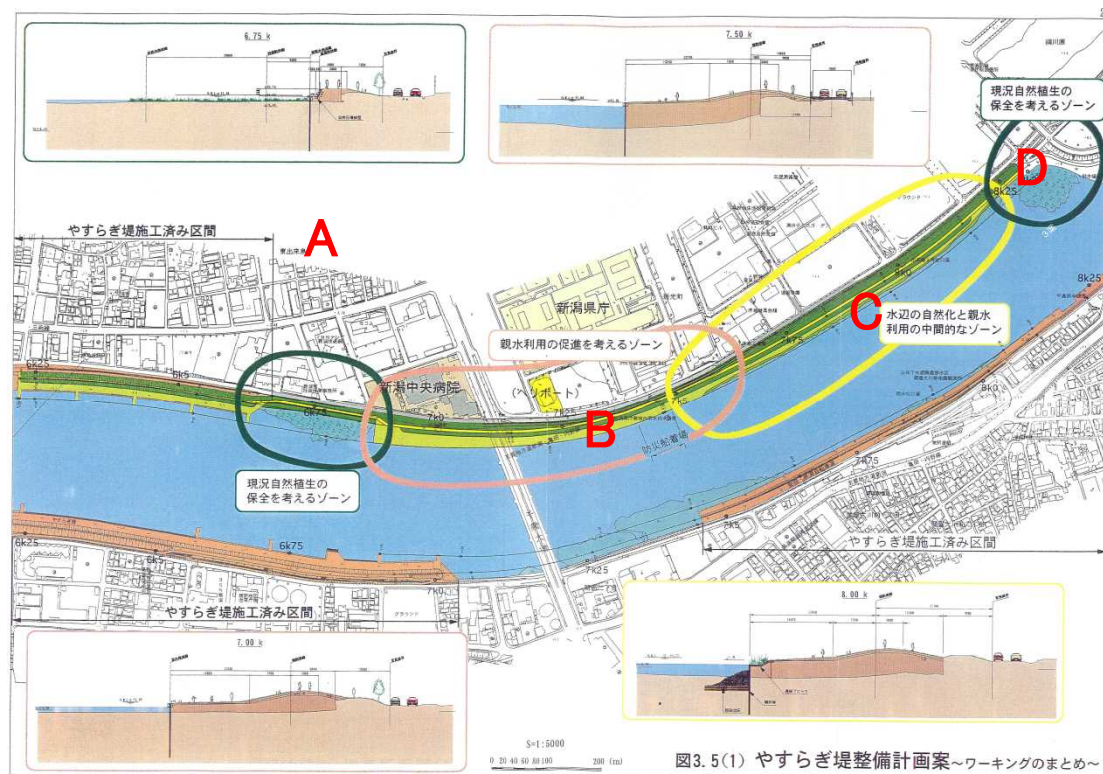
2 未整備区間のデザイン検討

1) 新光町地区

【再掲】 平成12年度 やすらぎ堤を考える会

平成12年度に開催された「やすらぎ堤を考える会」において、新光町地区の整備計画が検討され、現況の下流端と上流端ヨシ群落を存置する形状として提案されている。→ゾーニング(整備の方向性)は変更なし

ゾーン名	整備方向
A	●堤防を引いて自然(ヨシ原)を極力残します。 ●上流とのすりつけ部について ・なるべく徐々にすりつける。 ・病院前は、利用を考えなるべく広めに取ります。
B	○県庁前は人の集まる地区なので従来通りの幅広いやすらぎ堤を整備します。 ※ここには災害時資材の運搬等を考慮した船着場を整備します。(既決事項)
C	○Bゾーン(利用)とDゾーン(自然保全)の緩衝帯的整備とします(例えば散策しながら自然観察)。 ○ところどころワンドもしくは湿地のような、自然が自生してくるような仕掛けを作っておく。
D	○Aゾーンと同様に堤防を引いて自然(ヨシ原)を極力残します。



●: 今回(H12)の検討で整備方針が決まり、具体の検討を行う事項

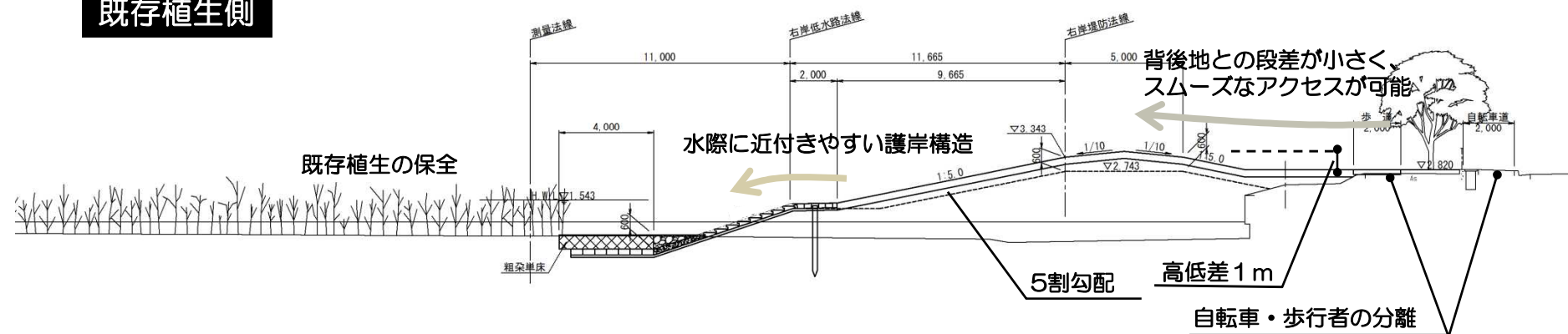
○: 今回(H12)の検討で整備方針が決まった事項

2 未整備区間のデザイン検討

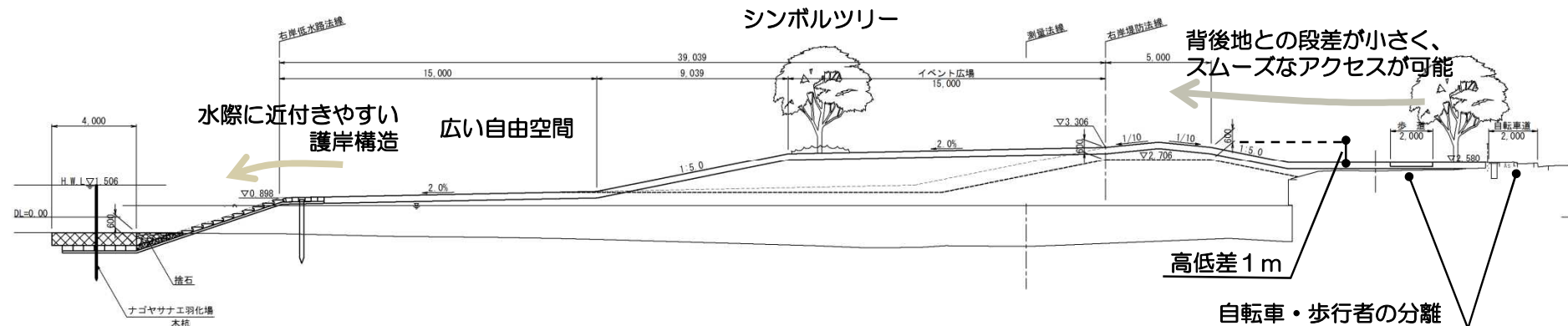
①新光町上流区間

断面図

既存植生側

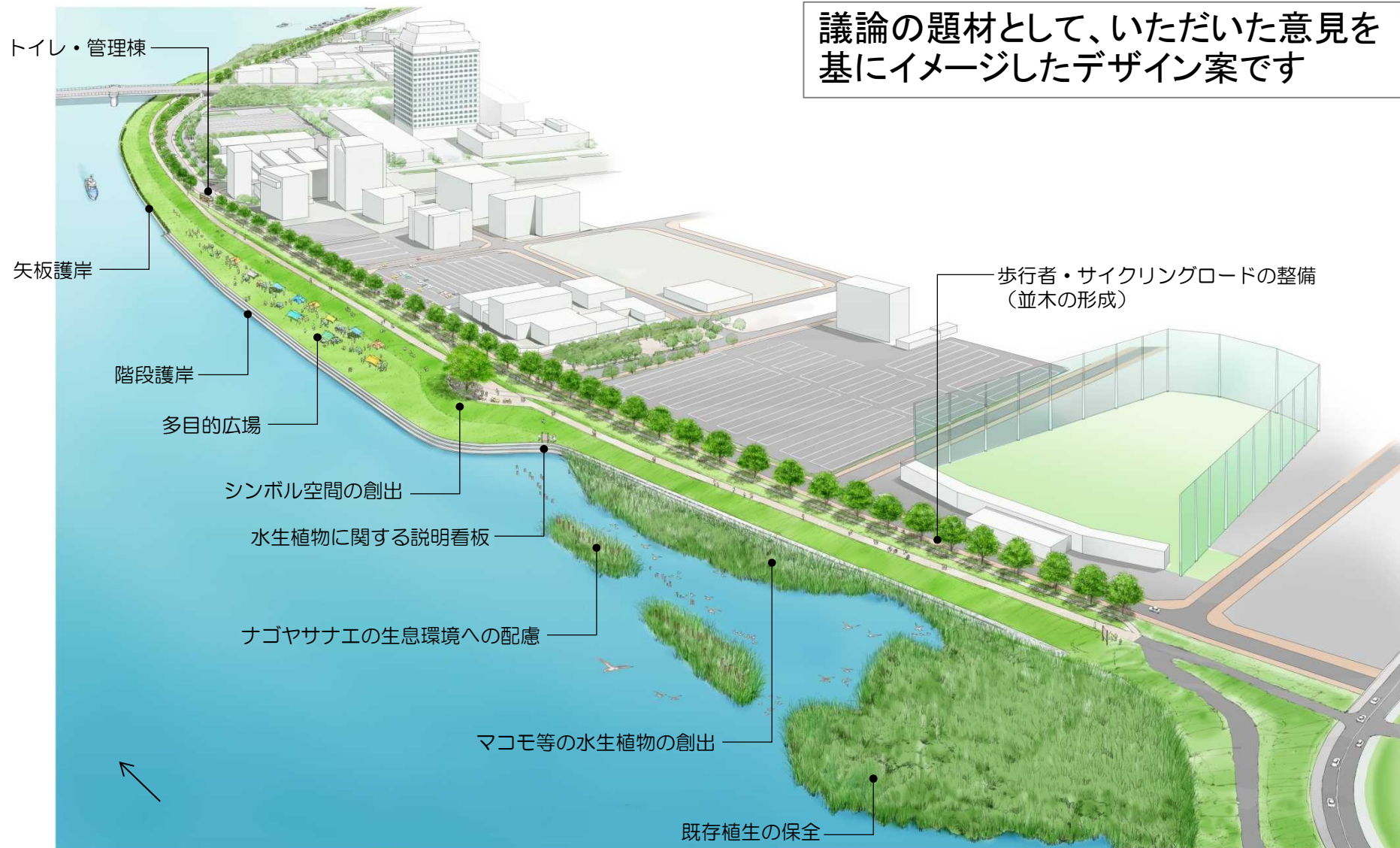


自然とふれあいの場側



2 未整備区間のデザイン検討

①新光町上流区間

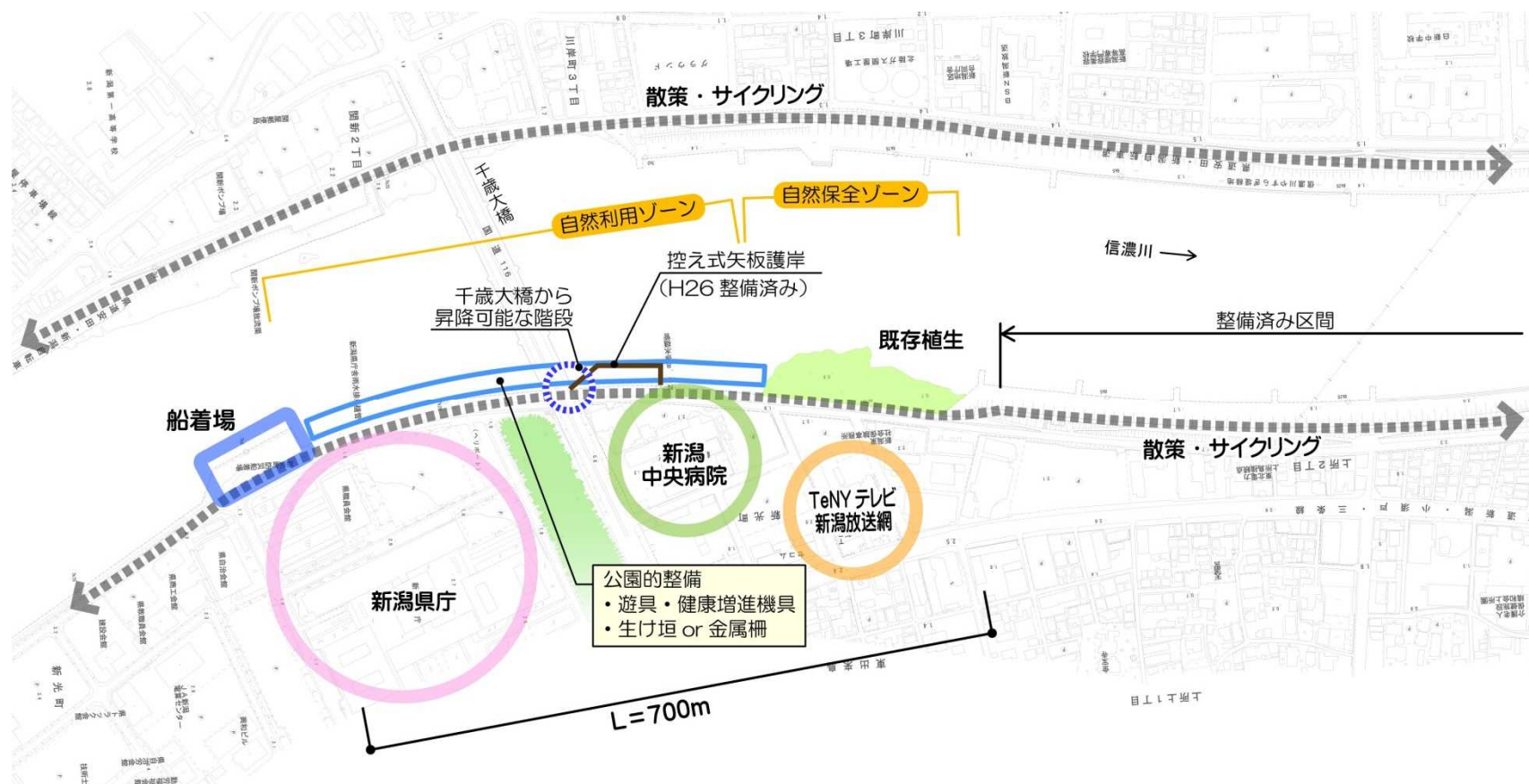


2 未整備区間のデザイン検討

②新光町下流区間

■整備コンセプト

- 下流端の既存植生は可能な限り残す ⇒ **自然保全ゾーン**
- 県庁、県民の森、新潟中央病院との連携（健康・憩いの場としての活用）
⇒ **自然利用ゾーン**

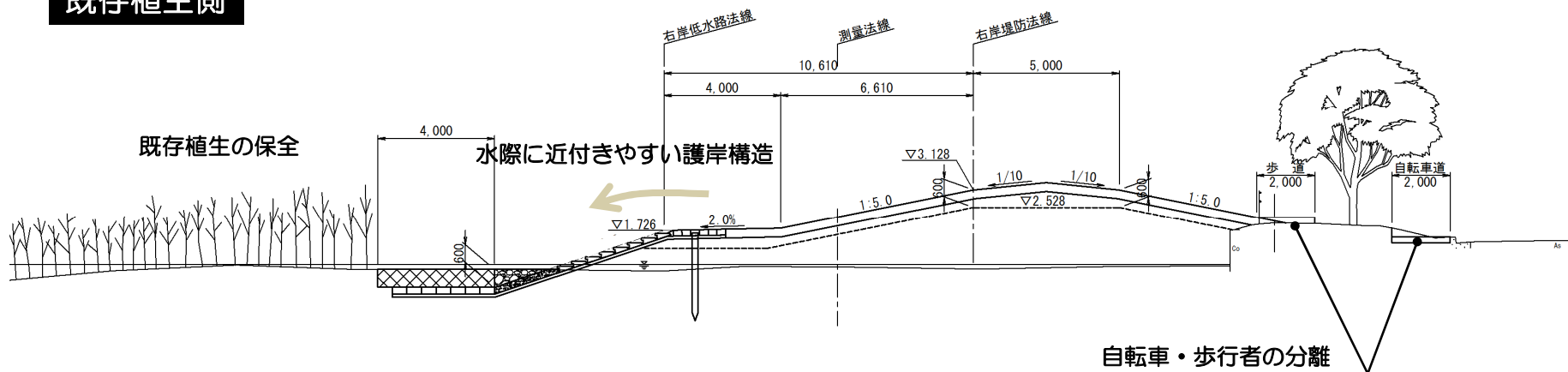


2 未整備区間のデザイン検討

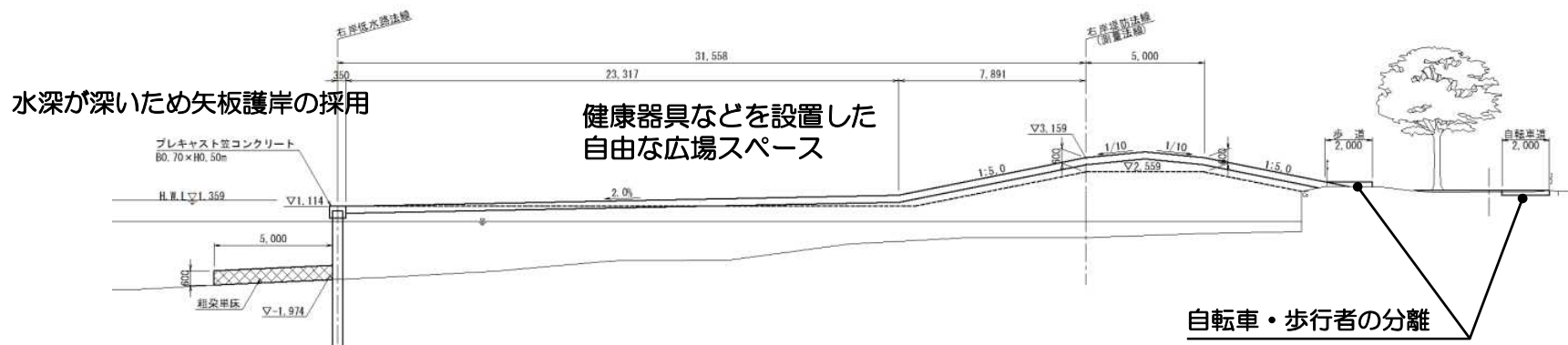
②新光町下流区間

断面図

既存植生側



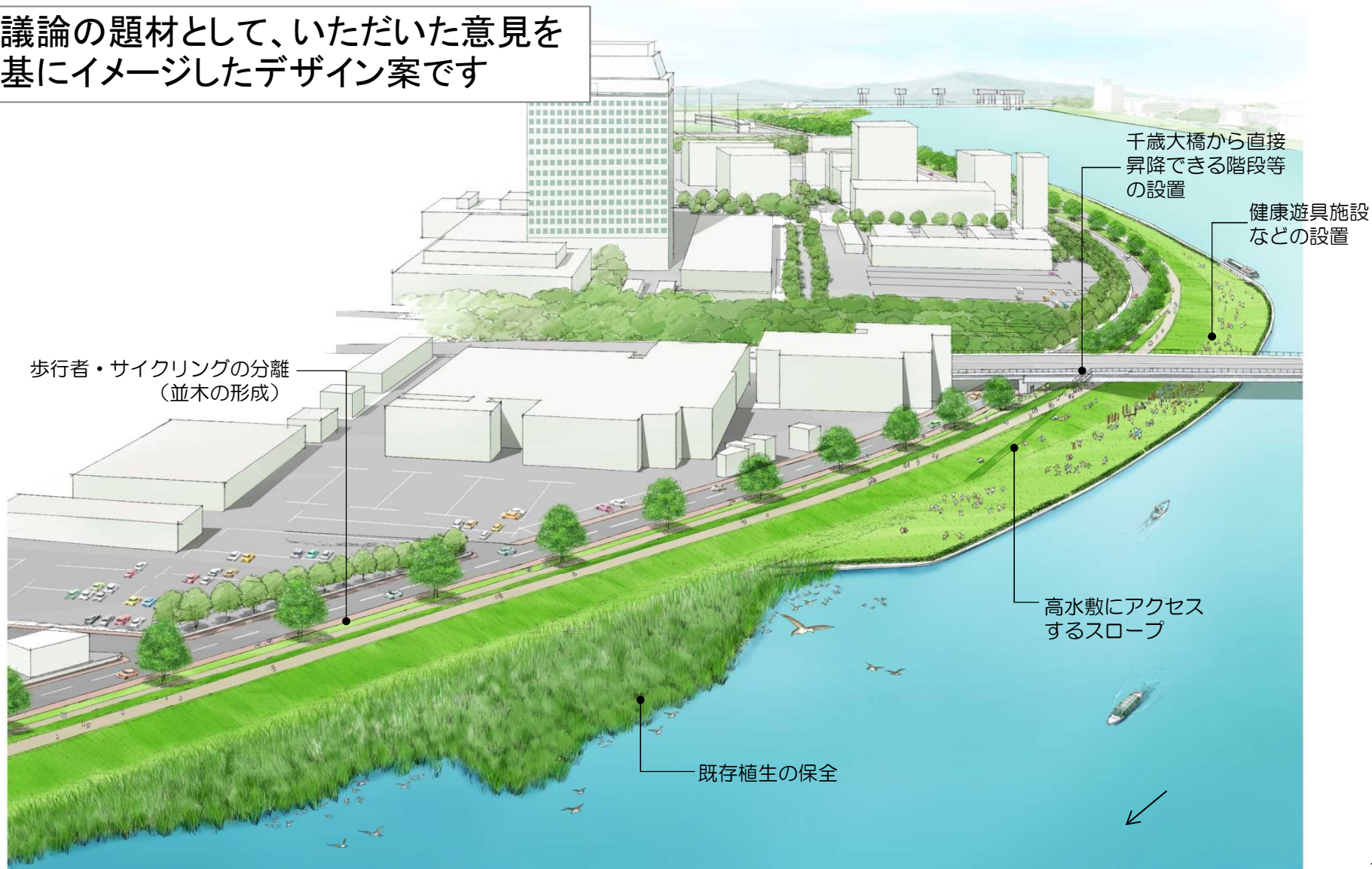
公園的整備側



2 未整備区間のデザイン検討

②新光町下流区間

議論の題材として、いただいた意見を
基にイメージしたデザイン案です

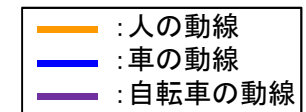
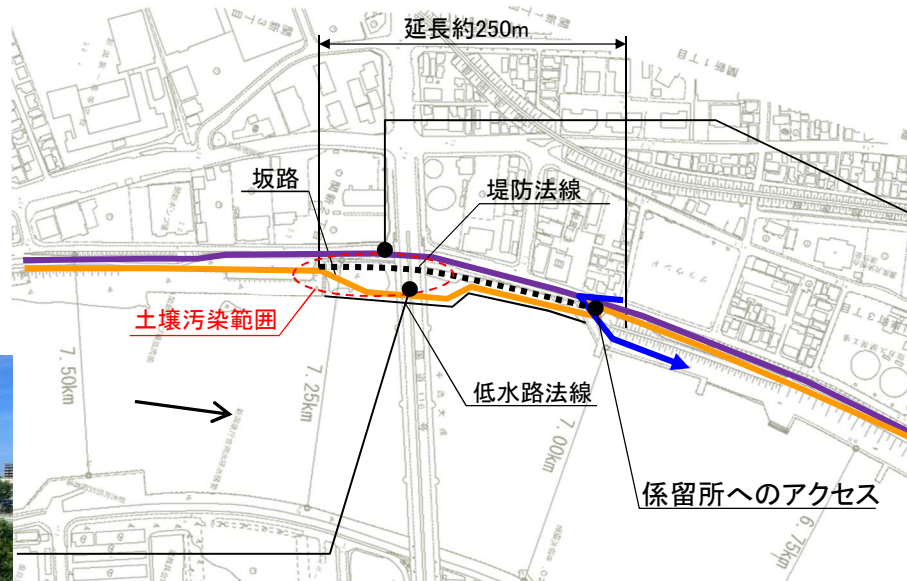


2 未整備区間のデザイン検討

2) 関新地区

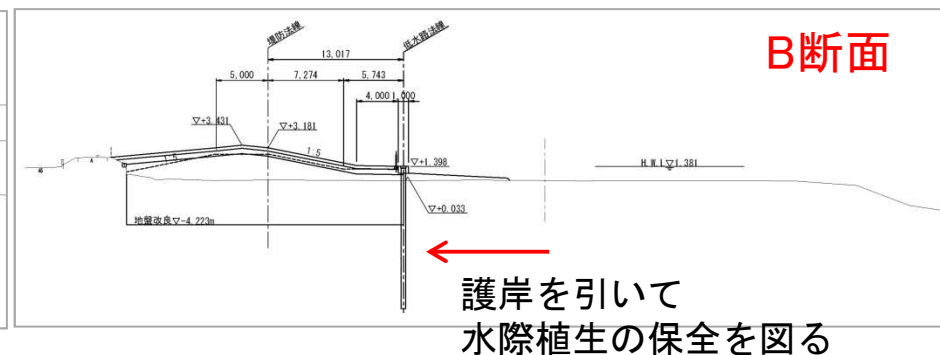
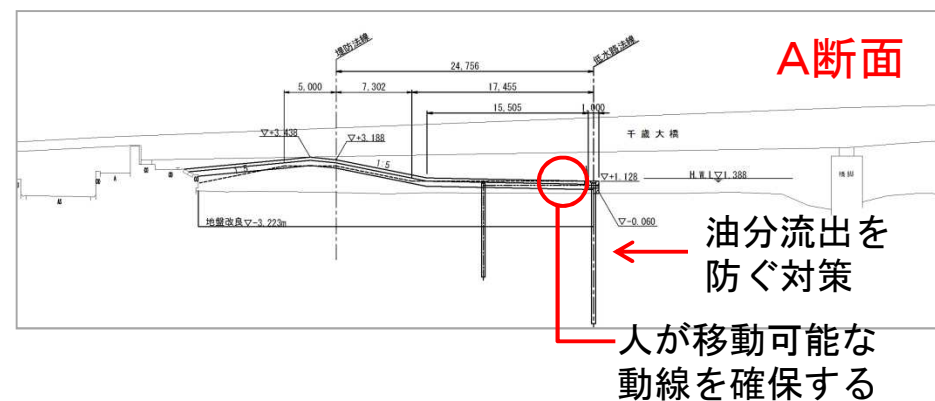
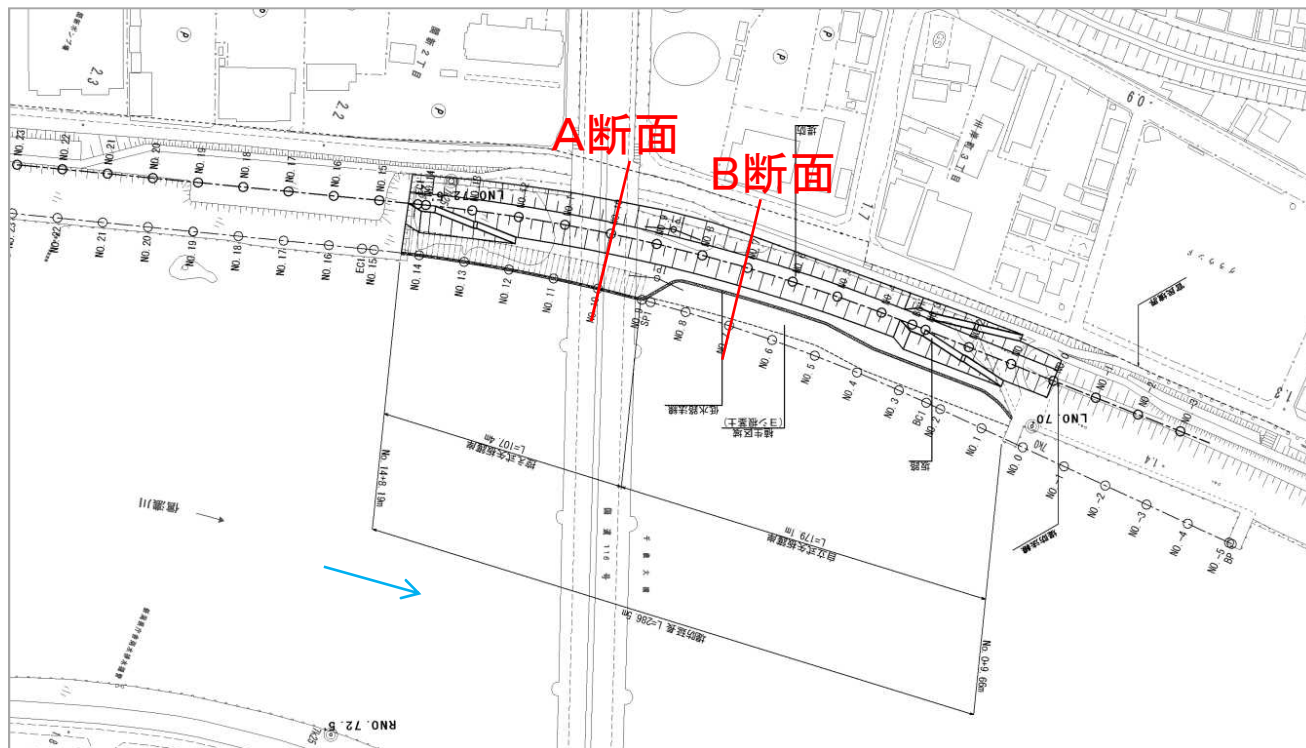
関新地区 整備方針：平面形状と動線の確保

- 千歳大橋上流区間では、油分の流れ出しを防ぐため、**高水敷幅が上流区間と同じ幅になるよう矢板護岸形式の低水護岸を設置。**
- 千歳大橋下流区間には、油分がないことから、**高水敷幅を歩道等が最低限確保できる4mに狭め上流のヨシ群落等の自然地を復元。**
- 現状では、千歳大橋部分は、自転車道と歩道が狭い堤内側通路を共有していることから、**堤外側に歩道の動線を確保。**また、暫定係留施設にアクセス可能な管理用通路を整備。



2 未整備区間のデザイン検討

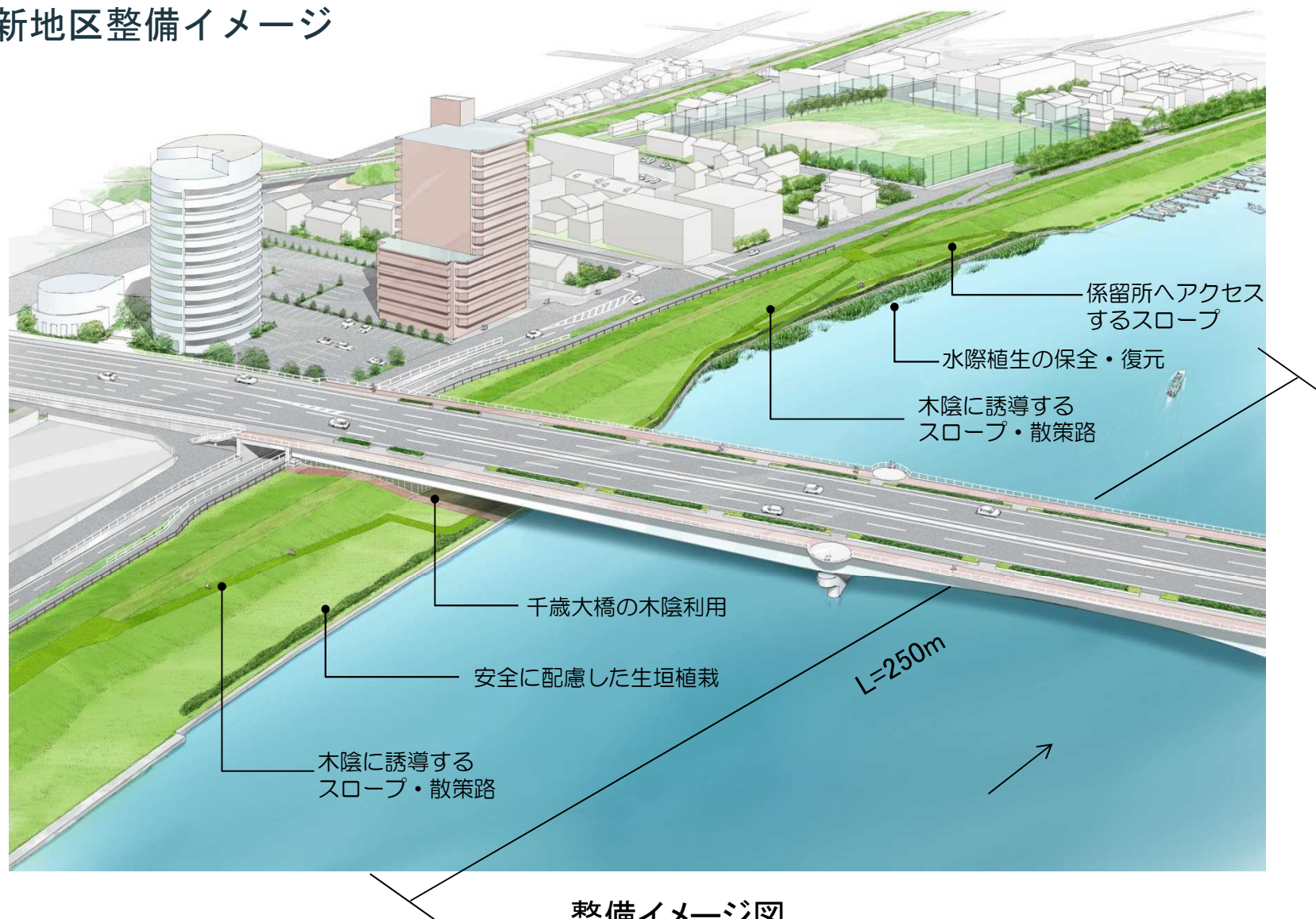
2) 関新地区



2 未整備区間のデザイン検討

2) 関新地区

関新地区整備イメージ

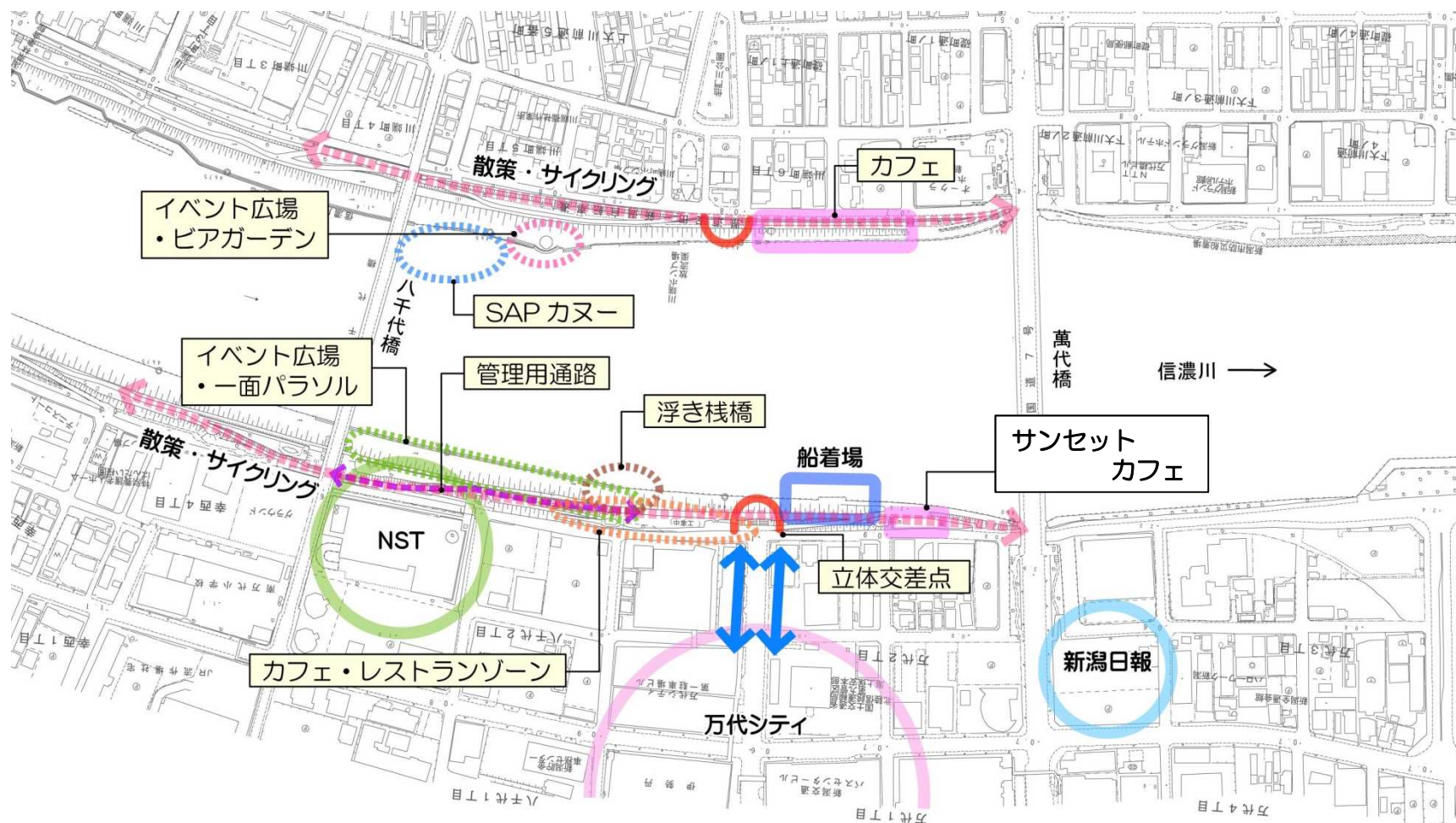


3 整備済み区間の改良デザイン検討

1) 萬代橋～八千代橋（両岸）

●キーワード:『萬代橋周辺の水辺にぎわい拠点』

都市再生整備計画の各種事業と連携し、まちなかとやすらぎ堤防の回遊性を強化し、水辺でくつろげるオープンカフェを整備する。

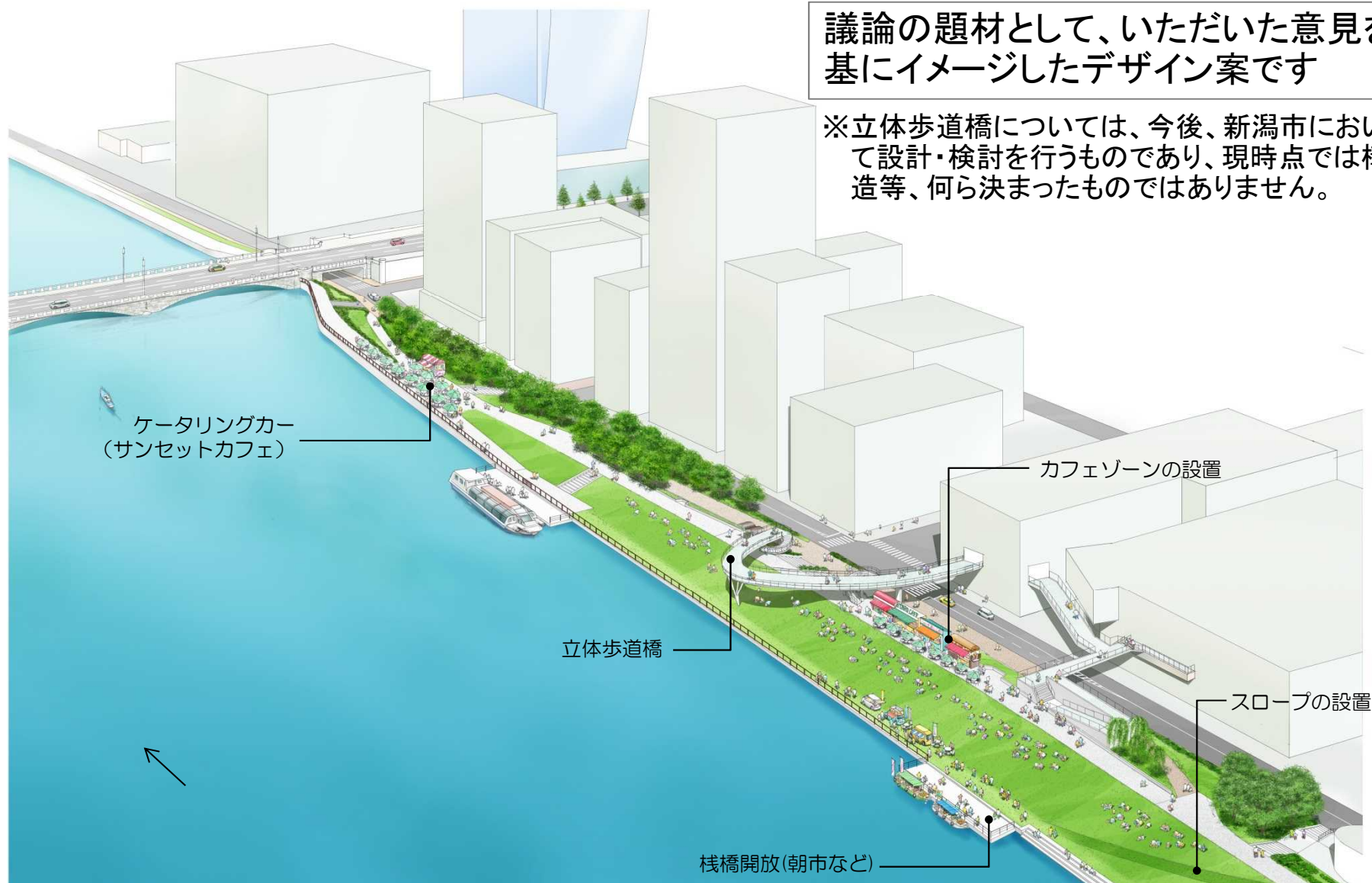


3 整備済み区間の改良デザイン検討

1) 萬代橋～八千代橋（右岸）

議論の題材として、いただいた意見を
基にイメージしたデザイン案です

※立体歩道橋については、今後、新潟市において設計・検討を行うものであり、現時点では構造等、何ら決まったものではありません。

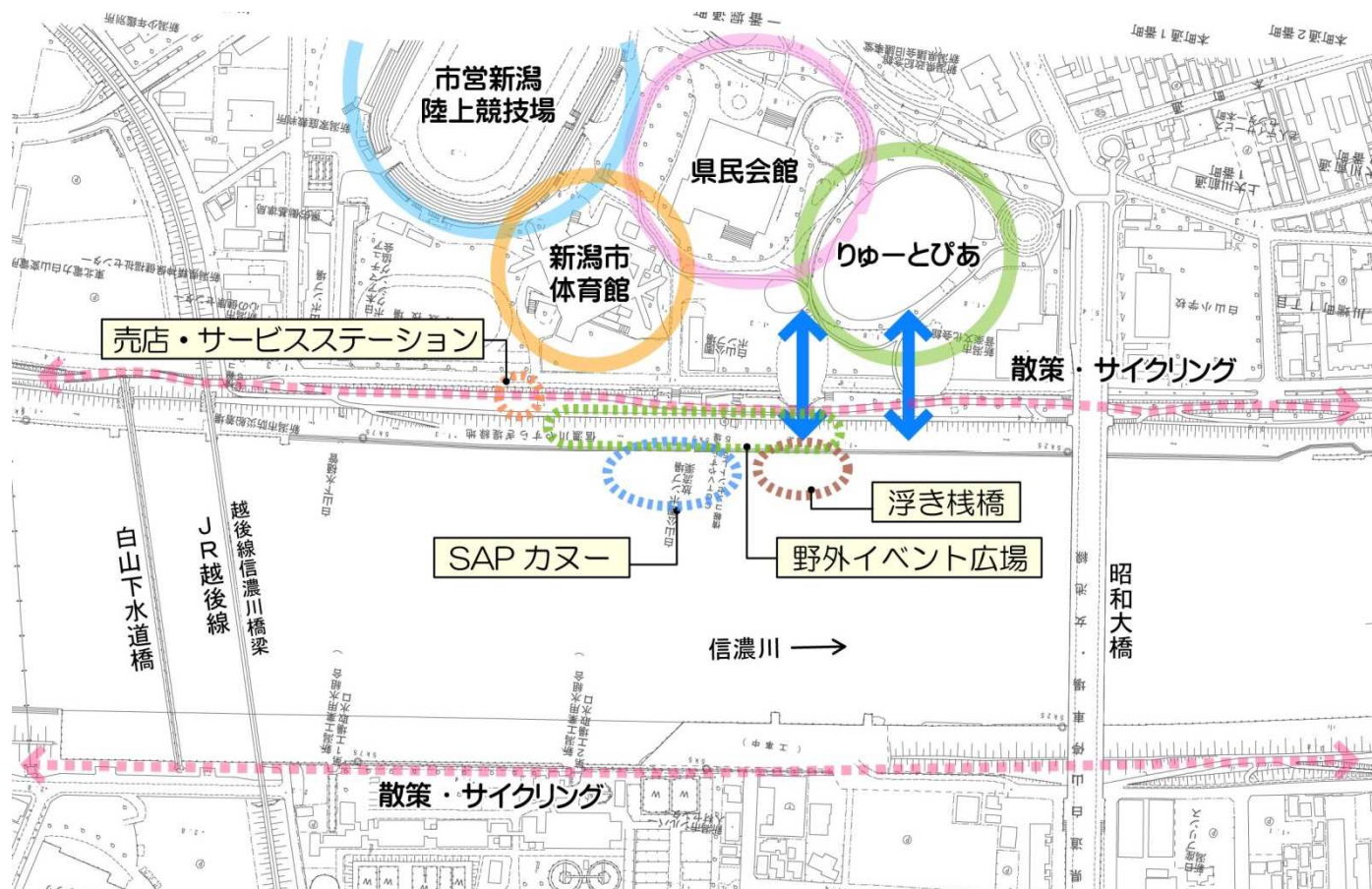


3 整備済み区間の改良デザイン検討

2) りゅーとぴあ前

●キーワード:『文化・スポーツ施設と一体となった水辺活用拠点』

新潟市の文化・スポーツ拠点と一体的な水辺空間を提供し、利用が盛んなジョギング・サイクリング利用者へのサービスステーションとともにイベント広場として利用可能な空間を整備する。



3 整備済み区間の改良デザイン検討

2) リューとぴあ前

議論の題材として、いただいた意見を
基にイメージしたデザイン案です

